

統合準備委員会ニュース第5号

平成14年(2002年)10月24日発行

竹見台小学校・南竹見台小学校統合準備委員会

委員長 田辺妙子

統合後の学校の教育内容と新校舎の整備について具体的な内容が教育委員会より提案されました！

10月16日(水) 第6回竹見台小学校・南竹見台小学校統合準備委員会を開催しました。教育委員会より「統合後の学校の教育内容について(案)」と「統合に伴う新校舎の整備について(案)」の資料が示され、具体的な内容の説明がありました。

「統合後の学校の教育内容について(案)」のおもな骨子は次のとおりです。

1 基本的な考え方

小中一貫教育の推進により9年間を見通したより効果的な指導のあり方等を研究し、市内各小・中学校に情報を発信するモデル校をめざす。

2 小中一貫教育のおもな内容

- (1) 9年間を見通した教科のカリキュラムを構築する。
- (2) 9年間を見通した国際理解教育を推進する。
- (3) 9年間を見通した情報教育を推進する。
- (4) 行事等において小学生と中学生の交流を進める。
- (5) 給食・清掃・遊びなどでの異学年交流、小・中学生の部活動での交流などを推進する。
- (6) 小・中学校合同の研究組織を設置する。部活動における相互支援体制づくりなど教員の交流を進める。

3 小中一貫教育を推進するための支援

- (1) 文部科学省の「学力向上フロンティア事業」、大阪府の「小・中学校間いきいきスクール」など国や府の研究指定を受け、小中一貫教育の研究に取り組む。
- (2) 少人数指導を行うための加配教員の配置(府へ強く要望する)
- (3) 英語指導助手(AET)の定期的な派遣により英語活動への支援を行う。
- (4) 教育委員会指導主事の定期的な派遣により、教科・国際理解教育・情報教育などのカリキュラムづくりの支援を行う。
- (5) 小中一貫教育の推進を支援するために、大学の研究者や教育委員会指導主事、保護者代表などを含めた運営指導委員会を設置する。

具体的な内容として、「新5年生では弾力的な対応により2学級編制が可能なこと」「新6年生については、生活集団は2学級であっても、授業においては加配教員の獲得により算数・理科・国語などで年間を通じて少人数授業が実施でき、一人ひとりに応じたきめ細かな指導ができること」「さらに高学年においては、加配教員を交えた教科担任制という新しいシステムを導入することにより、基礎基本の定着や学力の向上に一層の効果が期待できること、一人ひとりの子どもが多くの教員と触れ合いながら成長でき、多くの目で子どもたちを見守り育てることができること」「新しいシステムの導入により小学校と中学校の教員が交流を一層深め、小・中学校間のスムーズな接続によってより効果的な学習指導や生徒指導が行えるようになること」

「英語指導助手や英語活動支援者を毎週定期的に派遣することでネイティブな英語に触れながら9年間を見通した国際理解教育が行えること」など、これまでの学校にない大きな可能性を秘めていることが説明され、委員からも大きな期待を寄せる意見が出されました。この統合後の学校の教育内容については、統合準備委員会が主催して、PTA委員を対象とした説明会を10月25日（金）に開催することになりました。

次に、「統合に伴う新校舎の整備について（案）」の資料のおもな内容を紹介します。

1 使用する校舎について

- ・ 竹見台小学校の全校舎・体育館・プールおよび南竹見台小学校2階部分を使用する。
- ・ 平成15・16年度は、南竹見台小学校の現校舎を使用し、その間に竹見台小学校の耐震補強工事および大規模改修工事、運動場の排水工事を実施する。
- ・ 平成17年度新校舎に移った後、南竹見台小学校2階部分の改修を行う。

2 具体的な整備内容について

- ・ 竹見台小学校北棟1階部分を内廊下に改修する。
- ・ 竹見台小学校2階職員室前のスペースをオープンスペースとし、高学年図書室、低学年図書室、調べ学習室、コンピュータスペースなどを配置して、子どもたちが自主的に学習に取り組む空間にする。また、このオープンスペース内に竹見台小学校・南竹見台小学校の思い出を残す資料コーナーを設置する。
- ・ 南竹見台小学校2階にランチルームを設置する。また、ふれあいルームを設置し、地域の方々と児童との交流や会議などに使用できるよう整備する。
- ・ 南竹見台小学校の1階と3階に通じる階段は閉鎖する。ただし、跡利用の用途によって児童との交流が考えられる場合は開閉できるようにする。
- ・ 体育館は、竹見台小学校の体育館を全面改修する。
- ・ 竹見台小学校のプールを改修するとともに、更衣室の拡張と整備を行う。
- ・ 校舎からプールまでのアクセスとして、陸橋を渡って行き来ができるようにする。陸橋にはスロープを設置する。この陸橋については、プールへのアクセスとして使用するだけでなく小学校と中学校の交流を推進するために活用する。
- ・ トイレの全面改修を行う。
- ・ 正門の改修を行う。
- ・ 全普通教室にLANを整備する。
- ・ 校長室・職員室・図書室・オープンスペース・ランチルーム・ふれあいルームにクーラーを設置する。
- ・ 校舎外壁塗装、窓サッシ、屋上防水工事を行う。
- ・ エレベーターを設置する。

教育委員会から新校舎の整備についての説明があった後、委員からプールの移設、使用する運動場、跡利用などについて質問が出され、「プールはできるだけ早い時期に移設できるよう小学校敷地内に場所を確保していきたいが、当面の対策としてアクセス方法の改善を行い可能な限り更衣室の整備も行いながら児童の安全確保に努める」「運動場はこれまでの経緯を見ると現時点ではすべて使うということではないかと考えている」「跡利用については地元と話をする」との回答がありました。これらの回答の内容も含めて、次回の統合準備委員会では文書にまとめていく予定です。また、新しい学校の校名をどうするかについても次回協議する予定です。次回は、10月30日（水）の午後8時から開催する予定です。